

行刑施設における教化活動に関する調査研究（その1）

矯正協会附属中央研究所 水上 好久
 木下 貴寿
 佐藤 牧人
 出口 保行
 荻島 清
 杉田 博
 松村 猛
 澤田 直子
 東京矯正管区 大西 美加

1 はじめに

本研究は、行刑施設において実施されている教化活動の実態を明らかにし、行刑施設の受刑者処遇の一層の充実、強化に資することを目的として計画されたものである。

先行研究として、法務総合研究所が、昭和50年、同51年にほぼ同様の調査研究を実施している。

法務総合研究所の研究後、20年間に受刑者処遇に関する諸施策等が変更され、再度、教化活動についての実態を調査する必要性が認められる。例えば、平成4年5月1日から受刑者の作業時間が週44時間から40時間に短縮され、完全週休二日制が施行された。また、「新入時の教育」も「刑執行開始時の指導及び訓練に関する規定」と改称され、充実化が図られた。そこで当研究所では、先行研究の調査とほぼ同じ調査研究を行うこととしたものである。

本年度は、受刑者別教化活動等の調査を実施した結果について検討した。なお、次年度に実施される施設別教化活動調査との二つの

調査を総合した結果を再度、分析、検討する予定である。

2 研究の方法

(1) 調査対象施設及び対象人員

調査対象は、表1に掲げる全国26の行刑施設とした。先行研究が対象とした施設とほぼ同一とする予定であったが、当該施設の収容分類級の変更があったので、若干の施設の入れ換えが必要となった。26施設に無作為抽出を依頼した調査対象受刑者も先行研究と同じく2,000名としたが、IA級受刑者の減少により調査対象となるIA級受刑者は26名にとどまったため、総計1,926名となった。

(表1)

(2) 調査方法

研究は以下の2つの調査を総合して実施するように計画した。

①受刑者別教化活動等調査

受刑者別教化活動等調査（以下「個人別調査」という。）は、1,926名の無作為で抽出した受刑者について、教化活動に参加したか否か、参加した教化活動にどの程度満足した

表1 調査対象施設

収容分類	施設	人員
A	静岡 100, 三重 100, 滋賀 100, 福井 100	400
B	府中, 名古屋, 京都, 長崎, 福島, 網走, 富山, 宮崎各 100	800
LA	千葉 50, 岡山 50	100
LB	岐阜 50, 旭川 50	100
IA	市原 26	26
YA	川越 100, 奈良 50, 佐賀 50	200
YB	松本 50, 姫路少 50, 佐世保 50, 釧路 50	200
WA	栃木 50	50
WB	和歌山 50	50
計		1926

か、今後もその教化活動に参加することを希望するかを調査した。調査対象者は、刑執行開始時の指導を修了した者はすべて含むこととし、その中から所定数を任意抽出し、調査日は平成7年11月1日現在とした。

②施設別教化活動調査

施設別教化活動調査（以下「施設別調査」という。）は、対象施設で実施されている教化活動について実施日、実施時間、指導者、内容等について調査することとし、平成8年1月、同4月、同7月、同10月の4か月分について調査する計画である。

3 個人別調査

(1) 調査対象事項

調査対象事項は、職業訓練を除く全ての教化活動とした。調査期間は、無作為抽出により選定された受刑者の刑執行開始時から調査の前日である、平成7年10月31日までとした。この期間内に1回でも、教化活動に参加した場合は全て調査対象とした。

なお、先行研究では独立の調査事項とされている「閲覧図書指導」、「家庭相談」、

「職業相談」、「保護相談」、「信仰相談」等は「面接指導」に含めて調査した。「施設外視聴覚教育」は、通達上から廃止されているので、独立した調査事項とはしなかった。

本研究で新たに調査事項としたものに、「テレビ・VTR視聴」、「カラオケ大会」、「類型別指導」がある。

(2) 調査手続

各人毎に個人別調査票を配布し、受講の有無、受講した教化活動に対する満足度（大いに満足、やや満足、やや不満、全く不満の4段階）、希望度（大いに希望する、少し希望する、あまり希望しない、全く希望しないの4段階）を職員による聞き取り調査を実施した。調査担当職員は、対象施設が選任した職員とした。

なお、希望度については、受講した教化活動についてのみ調査し、受講していないものについては、希望度は聴取していない。

4 個人別調査の調査結果

(1) 調査対象者の属性

①年齢

調査対象者の年齢（図1）を見ると、2つのピークが見られる。第一のピークは、21歳から25歳にかけての若年層であり、第二のピークとしては44歳から48歳にかけての中年層である。これは、全行刑施設における被収容者の年齢構成とはほぼ一致している。なお、対象者の平均年齢は31.9歳である。

②在所期間

調査対象者の調査時での在所期間（図2）を見ると、1年未満のものが最も多く全体の43.9パーセントを占めている。次いで1年以上2年未満の27.5パーセント、2年以上3年未満の10.3パーセントと続き、82.2パーセントの者が在所期間が3年未満となっている。なお、平均在所期間は2.4年であるが、8年以上在所している長期の者も4.8パーセントを占めている。

③収容分類級

対象受刑者の収容分類級別人員は表1のとおりであり、これは先行研究と同数にしたものである。IA級については前述した。

ちなみに、この数を全受刑者における収容分類級別人員の比率と比べると、ややB級が少なく、Y級が多いが、おおむね一致する。（注1）

④処遇分類級

調査対象者の処遇分類級は、G級（生活指導を必要とする者）が90.0パーセントとそのほとんどを占め、次いでN級（経理作業に適する者）の5.5パーセント、V級（職業訓練に適する者）1.6パーセントなどの順となっている。なお、平成6年12月31日現在の全受刑者ではG級63.4パーセント、N級17.5パーセント、V級3.8パーセントであり、今回の調査対象者は特にG級が多い傾向にあることがわかる。（注2）

⑤犯罪傾向

調査対象者の今回の入所時の罪種を見ると、財産犯が最も多く31.4パーセント、次いで薬物犯の27.9パーセント、凶悪犯の20.2パーセントの順になっており、この三種で79.5パーセントを占める。

(2) 教化活動に参加した人員

教化活動に参加した人員は表2（注3）のとおりである。参加率の高い順にみると、「刑執行開始時の指導」が99.9パーセントで最も高い。本来100パーセントとなるべきであるが、病気のためこの指導を受けていない者が1名いたためである。次いで、「テレビ・VTR視聴（99.6パーセント）」、「演

図1 年齢の分布

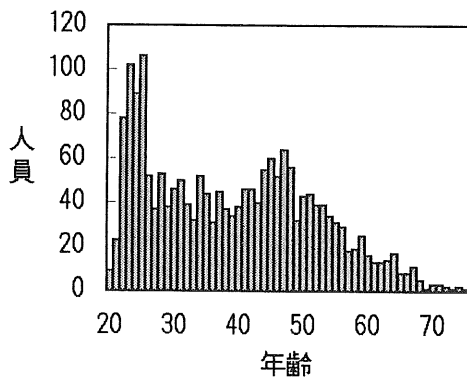


図2 在所期間

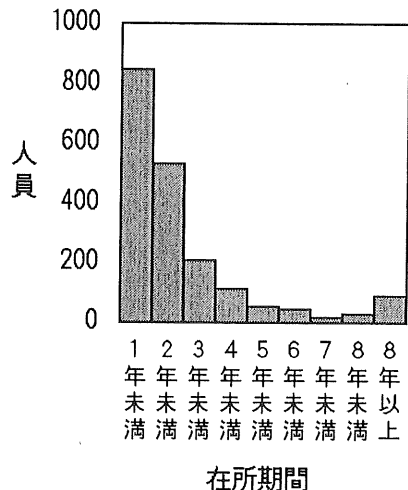


表2 教化活動への参加率

主な教化活動の内容	参加人員	%	主な教化活動の内容	参加人員	%
刑執行開始時の指導	1925	99.9	1・2級集会	495	25.7
釈放前指導	25	1.3	1・2・3級集会	881	45.7
教科教育	309	16.0	3級集会	600	31.2
高校教育	6	0.3	季節の催し	796	41.3
通信教育	203	10.5	運動会	1631	84.7
面接指導	278	14.4	競技会	210	10.9
篤志面接（集合）	9	0.5	球技会	1309	68.0
篤志面接（個別）	40	2.1	音楽会	472	24.5
宗教教誨（集合）	767	39.8	カラオケ大会	1188	61.7
宗教教誨（個別）	132	6.9	意見発表会	317	16.5
類型別指導	378	19.6	読書感想発表会	86	4.5
集団行動訓練	702	36.4	文化祭・作品展	598	31.0
体育訓練	392	20.4	文化系クラブ活動	354	18.4
礼儀作法	61	3.2	職業系クラブ活動	94	4.9
道德教育	38	2.0	運動系クラブ活動	49	2.5
自治的活動	136	7.1	文化系教養講座	167	8.7
講演	1234	64.1	職業系教養講座	29	1.5
映画	1302	67.6	施設外教育	79	4.1
テレビ・VTR 視聴	1916	99.5	誕生会	1348	70.0
演芸・演劇	1692	87.9	その他	126	6.5
1級集会	8	0.4			

注) 「その他」の内訳は、寮集会、贖罪指導、中間期教育、敬老会、囲碁将棋大会、料理指導

芸・演劇（87.9パーセント）」、「運動会（84.7パーセント）」、「球技会（68.0パーセント）」、「映画（67.5パーセント）」、「講演（64.1パーセント）」、「カラオケ大会（61.7パーセント）」などとなっている。参加率の低いものは、「高校教育（0.3パーセント）」、「一級集会（0.4パーセント）」、「教養講座（職業・資格系）（1.5パーセント）」、「道德教育（2.0パーセント）」、「クラブ活動（運動系）（2.5パーセント）」、「礼儀作法（3.2パーセント）」、「施設外教育（4.1パーセント）」、「読書感想文発表会（4.5パーセント）」などである。

なお、参加率については、集団処遇の可能

な受刑者全員が参加するもの、任意参加を原則とするもの、「一級集会」のように、参加資格が限られているものなどがあり、一律に比較することはできない。また、施設の全体改築のため、平成7年秋には運動会が中止された例があり、当該施設の「運動会」の参加率は低くなっている。

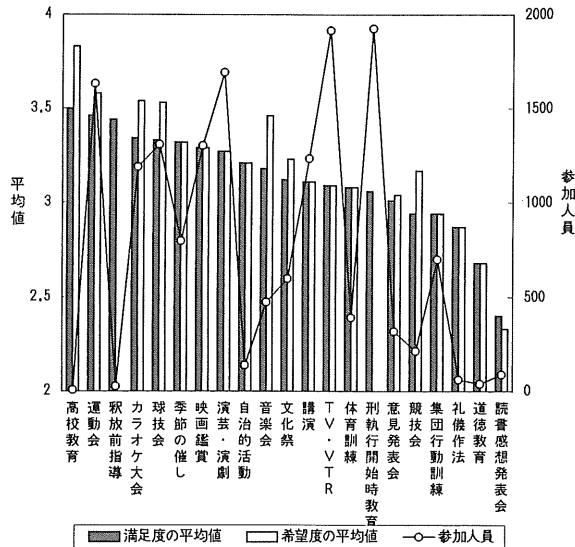
(3) 教化活動への満足度と希望度

①満足度

満足度の平均点（全く不満－1点、やや不満－2点、やや満足－3点、大いに満足－4点として計算。最大4、最小1となる。）を高いものから順に示したのが図3である。

最も平均点の高い活動（最も満足度が高い）

図3 各活動の満足度・希望度の平均値



は「高校教育（平均3.50）」であり、次いで「運動会(3.46)」、「釈放前指導(3.44)」、「カラオケ大会(3.34)」、「球技大会(3.33)」、「季節の催し(3.32)」、「映画鑑賞(3.29)」となっている。参加人員の少ない「高校教育」と「釈放前指導」を除くと、行事的な活動に満足度が高いことがわかる。

逆に、満足度の低い活動では、「読書感想文発表会(2.40)」、「道徳教育(2.68)」、「礼儀作法(2.87)」、「集団訓練(2.97)」であり、どちらかといえば能動的に本人が努力しなければならないような活動に満足度が低いことがわかる。

②希望度

どのような教化活動が希望度が高いかを平均点（大いに希望する－4点，少し希望する－3点，あまり希望しない－2点，全く希望しない－1点として計算。最大4，最小1となる。）でみると（図3参照），希望度の最も高い活動は「高校教育(3.83)」であり、次いで「テレビ・VTR視聴(3.64)」、「映画鑑賞(3.62)」、「運動会(3.58)」、「演芸・演劇(3.57)」、「カラオケ大会(3.54)」、「球技会(3.53)」、「季節の催し(3.50)」と

なっている。参加人員のきわめて少ない「高校教育」を除くと，希望度が高いのは娯楽性の強い活動に多いことがわかる。

希望度の低い，いいかえれば受刑者があまり喜ばない活動は，満足度でも低かった活動（「読書感想発表会」，「道徳教育」，「礼儀作法」，「集団訓練」など）と同様であった。

全般的に満足度よりも希望度の方が高い傾向にある。

(4) 収容分類級別の満足度

表3～表9は，参加人員が1000名以上の教化活動について，収容分類級別に満足度を示したものである。ここでは，満足度が「大いに満足」の者と「やや満足」の者を合わせて高満足群とし，他を低満足群とした。

各教化活動について，高満足群がその教化活動についての平均より多数によって判定するとIA，LA，B，WBの各収容分類級は，全般に満足度が高く，YB，LBの各収容分類級は，低いといえよう。

(5) 収容分類級別の希望度

表10から表16は，参加人員が1000名以上の教化活動について，収容分類級別に希望

表3 講演への満足度

	A		B		IA		LA		LB		WA		WB		YA		YB		計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
高満足群	252	80.3	314	85.6	11	100.0	88	88.0	67	69.1	18	94.7	31	91.2	90	70.3	107	65.2	978	79.2
低満足群	62	19.7	53	14.4	0	0.0	12	12.0	30	30.9	1	5.3	3	8.8	38	29.7	57	34.8	256	20.8
計	314	100	367	100	11	100	100	100	97	100	19	100	34	100	128	100	164	100	1234	100

表4 映画鑑賞への満足度

	A		B		IA		LA		LB		WA		WB		YA		YB		計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
高満足群	289	85.8	399	81.3	24	92.3	67	84.8	77	79.4	11	78.6	6	85.7	90	83.3	116	81.1	1079	82.9
低満足群	48	14.2	92	18.7	2	7.7	12	15.2	20	20.6	3	21.4	1	14.3	18	16.7	27	18.9	223	17.1
計	337	100	491	100	26	100	79	100	97	100	14	100	7	100	108	100	143	100	1302	100

表5 TV・VTR視聴への満足度

	A		B		IA		LA		LB		WA		WB		YA		YB		計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
高満足群	290	72.9	614	77.4	22	84.6	85	85.0	73	73.0	40	80.0	44	88.0	172	86.4	123	61.5	1463	76.4
低満足群	108	27.1	179	22.6	4	15.4	15	15.0	27	27.0	10	20.0	6	12.0	27	13.6	77	38.5	453	23.6
計	398	100	793	100	26	100	100	100	100	100	50	100	50	100	199	100	200	100	1916	100

表6 演芸・演劇への満足度

	A		B		IA		LA		LB		WA		WB		YA		YB		計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
高満足群	299	78.5	632	86.1	15	93.7	84	84.8	69	70.4	16	94.1	40	85.1	150	90.4	105	78.4	1410	83.3
低満足群	82	21.5	102	13.9	1	6.3	15	15.2	29	29.6	1	5.9	7	14.9	16	9.6	29	21.6	282	16.7
計	381	100	734	100	16	100	99	100	98	100	17	100	47	100	166	100	134	100	1692	100

表7 運動会への満足度

	A		B		IA		LA		LB		WA		WB		YA		YB		計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
高満足群	271	91.2	640	94.1	23	95.8	94	94.9	68	70.1	48	96.0	17	85.0	174	89.7	137	86.6	1472	90.3
低満足群	26	8.8	40	5.9	1	4.2	5	5.1	29	29.9	2	4.0	3	15.0	20	10.3	33	19.4	159	9.7
計	297	100	680	100	24	100	99	100	97	100	50	100	20	100	194	100	170	106	1631	100

表8 球技会への満足度

	A		B		IA		LA		LB		WA		WB		YA		YB		計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
高満足群	228	89.4	487	90.2	5	100.0	70	90.9	72	77.4	5	55.6	9	90.0	113	84.3	148	80.0	1137	86.9
低満足群	27	10.6	53	9.8	0	0.0	7	9.1	21	22.6	4	44.4	1	10.0	21	15.7	37	20.0	171	13.1
計	255	100	540	100	5	100	77	100	93	100	9	100	10	100	134	100	185	100	1308	100

表9 カラオケ大会への満足度

	A		B		IA		LA		LB		WA		WB		YA		YB		計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
高満足群	234	84.5	369	92.0	1	100.0	67	88.2	64	69.6	28	90.3	39	95.1	130	84.4	87	75.7	1019	85.9
低満足群	43	15.5	32	8.0	0	0.0	9	11.8	28	30.4	3	9.7	2	4.9	24	15.6	28	24.3	169	14.1
計	277	100	401	100	1	100	76	100	92	100	31	100	41	100	154	100	115	100	1188	100

表 10 講演への希望度

	A		B		IA		LA		LB		WA		WB		YA		YB		計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
高希望群	252	80.5	320	87.4	10	90.9	82	82.0	70	72.2	18	94.7	32	94.1	89	70.1	105	64.4	978	79.5
低希望群	61	19.5	46	12.6	1	9.1	18	18.0	27	27.8	1	5.3	2	5.9	38	29.9	58	35.6	252	20.5
計	313	100	366	100	11	100	100	100	97	100	19	100	34	100	127	100	163	100	1230	100

表 11 映画鑑賞への希望度

	A		B		IA		LA		LB		WA		WB		YA		YB		計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
高希望群	311	92.6	459	93.7	22	84.6	68	86.1	87	89.7	14	100.0	3	42.9	104	96.3	135	95.1	1203	92.6
低希望群	25	7.4	31	6.3	4	15.4	11	13.9	10	10.3	0	0.0	4	57.1	4	3.704	7	4.9	96	7.4
計	336	100	490	100	26	100	79	100	97	100	14	100	7	100	108	100	142	100	1299	100

表 12 TV・VTR 視聴への希望度

	A		B		IA		LA		LB		WA		WB		YA		YB		計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
高希望群	372	93.7	755	95.3	23	88.5	96	96.0	95	95.0	46	92.0	50	100.0	189	95.0	196	98.5	1822	95.2
低希望群	25	6.3	37	4.7	3	11.5	4	4.0	5	5.0	4	8.0	0	0.0	10	5.0	3	1.5	91	4.8
計	397	100	792	100	26	100	100	100	100	100	50	100	50	100	199	100	199	100	1913	100

表 13 演芸・演劇への希望度

	A		B		IA		LA		LB		WA		WB		YA		YB		計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
高希望群	333	87.6	680	92.9	15	93.8	91	91.9	87	88.8	16	94.1	44	93.6	158	95.2	122	91.0	1546	91.5
低希望群	47	12.4	52	7.1	1	6.3	8	8.1	11	11.2	1	5.9	3	6.4	8	4.8	12	9.0	143	8.5
計	380	100	732	100	16	100	99	100	98	100	17	100	47	100	166	100	134	100	1689	100

表 14 運動会への希望度

	A		B		IA		LA		LB		WA		WB		YA		YB		計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
高希望群	263	88.6	650	95.7	22	91.7	92	92.9	79	81.4	33	71.7	18	90.0	177	91.2	159	94.1	1493	91.9
低希望群	34	11.4	29	4.3	2	8.3	7	7.1	18	18.6	13	28.3	2	10.0	17	8.8	10	5.9	132	8.1
計	297	100	679	100	24	100	99	100	97	100	46	100	20	100	194	100	169	100	1625	100

表 15 球技会への希望度

	A		B		IA		LA		LB		WA		WB		YA		YB		計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
高希望群	217	85.1	511	94.6	5	100.0	68	88.3	79	84.9	8	88.9	9	90.0	124	92.5	174	94.1	1195	91.4
低希望群	38	14.9	29	5.4	0	0.0	9	11.7	14	15.1	1	11.1	1	10.0	10	7.5	11	5.9	113	8.6
計	255	100	540	100	5	100	77	100	93	100	9	100	10	100	134	100	185	100	1308	100

表 16 カラオケ大会への希望度

	A		B		IA		LA		LB		WA		WB		YA		YB		計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
高希望群	252	91.0	380	94.8	1	100.0	66	86.8	76	82.6	26	89.7	39	95.1	145	94.2	107	93.0	1092	92.1
低希望群	25	9.0	21	5.2	0	0.0	10	13.2	16	17.4	3	10.3	2	4.9	9	5.8	8	7.0	94	7.9
計	277	100	401	100	1	100	76	100	92	100	29	100	41	100	154	100	115	100	1186	100

度を示したものである。ここでも、希望度が「大いに希望する」者と「少し希望する」者を高希望群とし、他を低希望群とした。

各教化活動について、高希望群がその教化活動についての平均より多いか否かによってみると、B, IA, WB, YA, YB, の各収容分類級は、一般的に希望度が高く、LA, LB の各収容分類級は、低いといえよう。

(6) 若干の教化活動について

以上で、教化活動について概観したわけであるが、若干の教化活動について説明する。

①施設外教育

「施設外教育」の具体的な内容等を示したのが図4である。また、満足度、希望度を示したのが図5である。施設外に出ることが、受刑者にとって例外的なことであり、79名が参加しているだけであるが、満足度、希望度ともに高いことは当然かも知れない。

図4 施設外教育の種類及び参加人員の割合

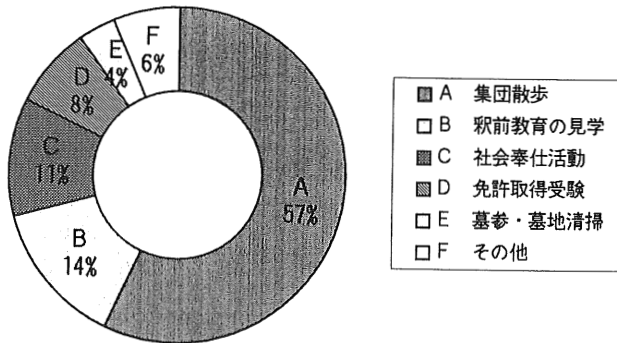
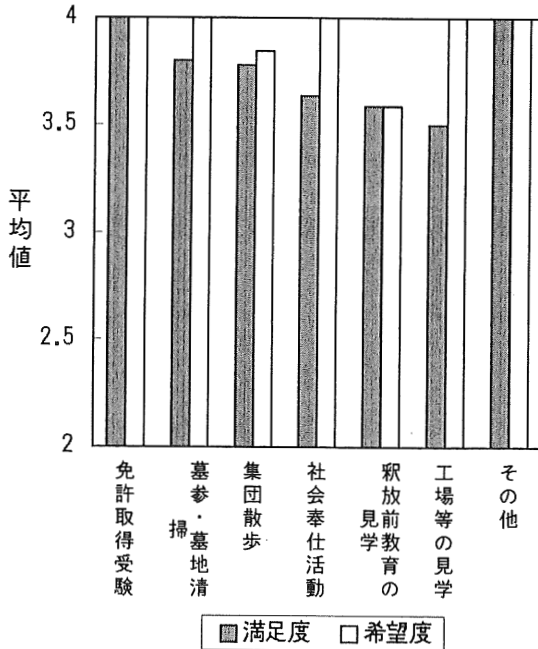


図5 施設外教育への満足度・希望度



②通信教育

「通信教育」の内容は、図6に示すとおり、8種類にまとめて調査した。参加人員は、半数近くが基礎教養や趣味に関するものに集中しているが、出所後の生活設計と関わる技術習得を目指すものも多く、全体の40名を占めている。

通信教育への満足度、希望度について公費私費別の傾向は、ほぼ一致しているが、中でも注目されるのは、公費による受講者よりも、私費による受講者の満足度が低いことである。これは、公費による通信教育の内容や水準が適切に選択されていることを示しているものであるが、希望度の面から見れば、自己負担をしてでも広範囲の内容や水準の通信教育を受けたいという高い要求水準を示すものと思われる。（表17）

③類型別指導

「類型別指導」は、7図に示すとおりであるが、参加率をみると60パーセントを超えるものが「覚せい剤乱用防止教育」を受講しており、各施設が、この分野への指導に力を入れていることが分かる。また、満足度、希望度（図8）共に平均値を超える高い数値を示している点からみて、今後、この種の教育指導を積極的に実施していく必要性の高いことを示しているといえよう。

この指導に対する満足度と希望度に大きな違いのあるものは、暴力団離脱指導と徒遊型で、希望度が極めて高いわりに受講した満足感が得られていない点に注目しなければならない。言葉をかえれば、受講者にとって必要度が高いのに、受講による教育効果が十分に上がっていないことを示すとも考えられるの

図6 通信教育の種類及び参加人員の割合

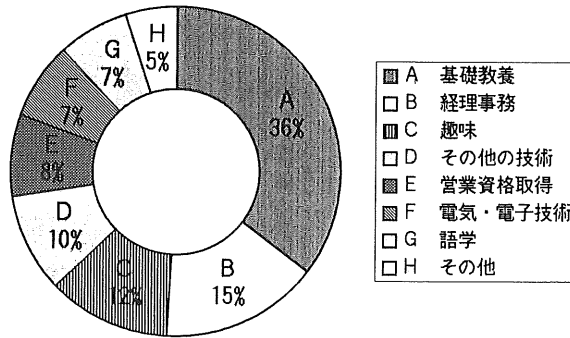


表17 通信教育への満足度・希望度

	参加人員	満足度	大いに満足		やや満足		やや不満		全く不満		計	%
			大いに希望する		少し希望する		あまり希望しない		全く希望しない			
			人員	%	人員	%	人員	%	人員	%		
公費	70	満足度	44	62.9	25	35.7	1	1.4	0	0.0	70	100
		希望度	51	72.9	14	20.0	3	4.3	2	2.9	70	100
私費	99	満足度	48	48.5	29	29.3	17	17.2	5	5.1	99	100
		希望度	63	63.6	23	23.2	9	9.1	4	4.0	99	100

図7 類型別指導の種類及び参加率

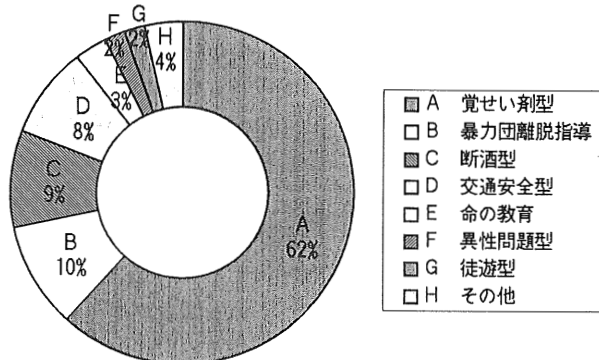
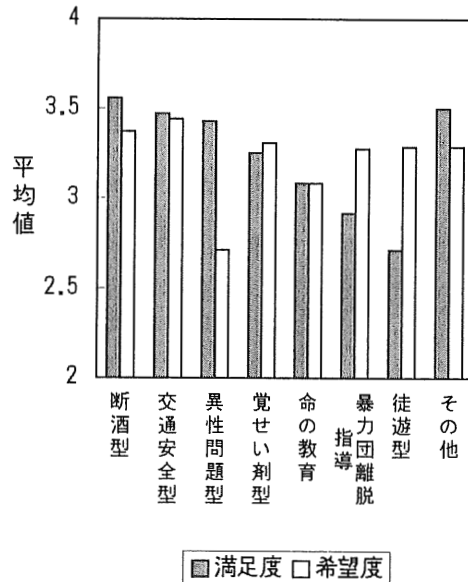


図8 類型別指導への満足度・希望度



で、この種の教育内容や方法に関する研究は欠かせないであろう。一方、異性問題型については、希望度は低いわりに満足度が高いのは、この種のテーマの場合には必要度を意識する者が少ないことを示しているので、対象者の選択方法などに工夫が必要となろう。

④宗教教誨

宗教教誨に参加した人員を集合教誨、個別教誨に分けて示したのが、表18・19及び図

9である。

いずれの宗教も個別教誨の方が、集合教誨よりも高い満足度、希望度を示しているのは、当然の傾向といえよう。

なお、宗教行事としての法要、クリスマス会等は上記の集合教誨には含まれていない。

⑤クラブ活動、教養講座

余暇活動の調査のために、調査票では、クラブ活動と教養講座を別項目とした。しかし

表 18 集団教誨への満足度・希望度

	参加 人員	満足度 希望度	大いに満足		やや満足		やや不満		全く不満			
			大いに希望する		少し希望する		あまり希望しない		全く希望しない			
			人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	計	%
仏教	359	満足度	190	52.9	138	38.4	27	7.5	4	1.1	359	100
		希望度	212	59.2	108	30.2	30	8.4	8	2.2	358	100
神道	27	満足度	10	37.0	12	44.4	5	18.5	0	0.0	27	100
		希望度	14	51.9	10	37.0	2	7.4	1	3.7	27	100
キリスト教	93	満足度	38	40.9	44	47.3	10	10.8	1	1.1	93	100
		希望度	45	48.9	38	41.3	6	6.5	3	3.3	92	100

注1 法要, クリスマス会等を含まないため, 表1の参加人員とは一致しない。

注2 仏教系, キリスト教系の参加人員の中に希望度が無回答の者が各1名いるため, 参加人員と計は一致しない。

表 19 個別教誨への満足度・希望度

	参加 人員	満足度 希望度	大いに満足		やや満足		やや不満		全く不満			
			大いに希望する		少し希望する		あまり希望しない		全く希望しない			
			人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	計	%
仏教	92	満足度	64	69.6	24	26.1	2	2.2	2	2.2	92	100
		希望度	63	70.0	19	21.1	3	3.3	5	5.6	90	100
神道	10	満足度	6	60.0	3	30.0	1	10.0	0	0.0	10	100
		希望度	6	60.0	3	30.0	1	10.0	0	0.0	10	100
キリスト教	30	満足度	21	70.0	8	26.7	1	3.3	0	0.0	30	100
		希望度	23	76.7	5	16.7	1	3.3	1	3.3	30	100

注1 仏教教誨への参加人員の中に希望度が無回答の者が2名いるため, 参加人員と計は一致しない。

図 9 文化系クラブ及び文化系教養講座の参加人員
(複数回答)

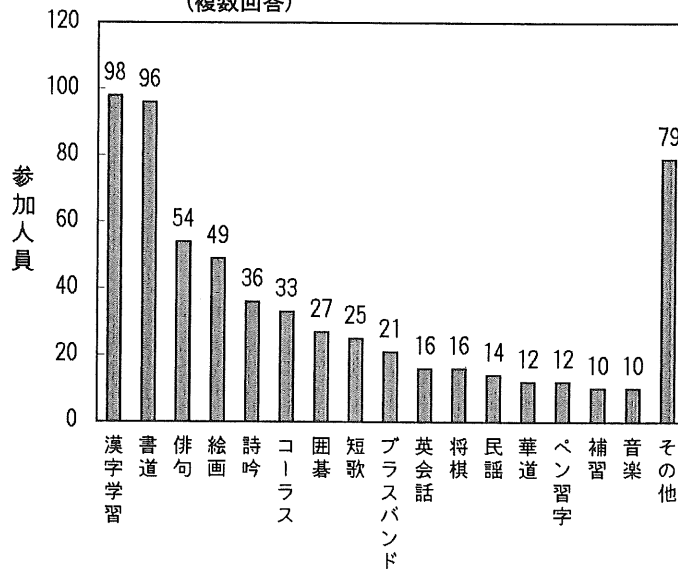


図10 職業系クラブ及び職業系講座の参加人員 (複数回答)

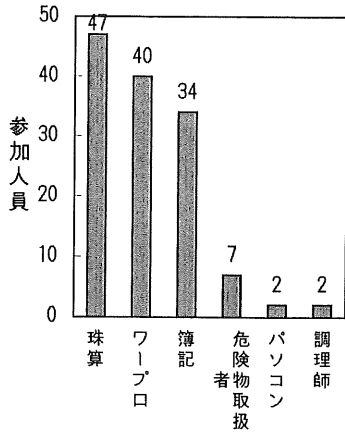
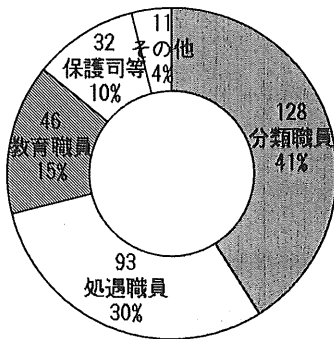


図12 面接指導の指導者の種類及び比率



両者の実態に差異はなく、名称だけ違うものである。両者を合算して示したのが図10から図12である。

クラブ活動等については、文化系クラブ活動の種目が多いために18パーセントを超える参加率を示しているものの、クラブ活動自体への参加率は10パーセントに満たない点をみれば、教化活動に利用できる時間帯、場所等の条件に左右されていることがわかる。

図11 運動系クラブの参加人員 (複数回答)

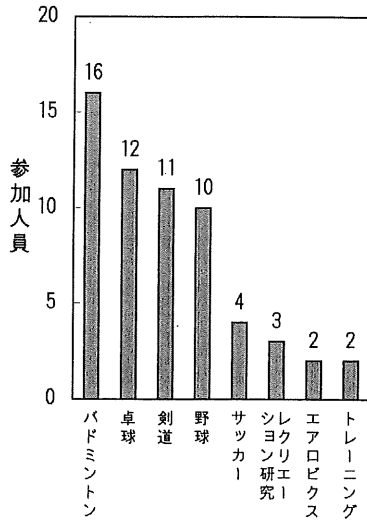
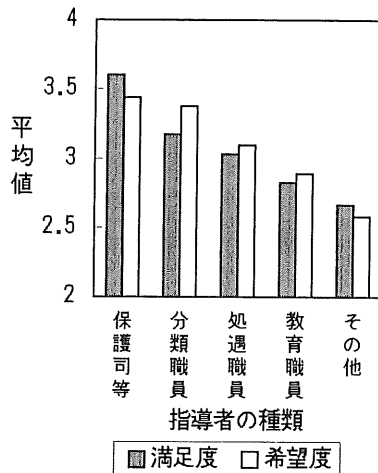


図13 面接指導への満足度・希望度



⑥面接指導

面接指導を受けた人員及び指導者の種類、満足度等を示したのが図13、図14である。

保護司等の10パーセントを除けば、大半は施設職員による相談である。当然のことながら、面接指導を受ける機会の少ないものへの期待度は高くなるので、単に量的比較はできないが、被相談者自身に密着した内容になればなるほど満足度も、希望度も高くなるこ

とがわかる。

中でも施設職員による面接指導への希望度が満足度を上廻っていることに注目する必要がある。こうした機会を作って行く努力が施設側に期待されているものと思われる。

5 おわりに

”はじめに”で述べたとおり、この報告は、2年間の研究期間の前半で得られた、26の行刑施設の受刑者2000名の教化活動への参加数、満足度、希望度の結果の一部を検討し発表したものである。これらの調査結果は、受刑者の教化活動に対する反応を如実に示しているものと思われる。この結果を次年度に実施する研究調査に反映できるよう研究を進める予定である。

調査対象となった行刑施設をはじめ、関係各位の御協力に対して心からお礼を申し上げ、併せて今後の御支援をお願い申し上げますものである。

注1 犯罪白書 平成7年度版 86頁

注2 注1に同じ

注3 表1の「参加人員」はその教化活動に参加したことがある対象者の人数である。したがって複数回答項目の延べ人員をカウントした図表及び一部無回答のケースがあった満足度・希望度の図表に示す人員とは、数の合わない場合がある。